



例会:毎週水曜日 12:45~ 例会場:勇屋会館 事務所:安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F

TEL:0263(73)2901 FAX:0263(72)3181 E-mail: azumirc@poppy.ocn.ne.jp

RI テーマ



世界に希望を生み出そう

会長 小穴 実 幹事 藤森 康友

R.I 会長 ゴードン R. マッキナリー ガバナー補佐 場々 洋介

クラブ標語【クラブに希望を生み出そう】

《青少年奉仕月間》



★ 配布・幹事報告号 No.31

・2023-2024 年度地区大会報告書

★ 国歌/ロータリーソング・君が代/奉仕の理想

★ ゲストのご紹介

・米山奨学生 于漫萱 様

★ 会長挨拶

皆さんこんにちは!

GW も明けお疲れじゃないでしょうか?今年4月27日からの前半3日間と5月3日からの後半4日間とカレンダー通り分かれて取られた方と真ん中の3日間も併せて10連休にされた方いらっしゃるようですが皆様はどちらだったでしょうか?

肉体的・精神的にお疲れが出ないことを願っております。

4月は19日に松本南ロータリークラブの40周年記念式典が有り、当クラブからガバナー補佐の場々さんと共に出席をいたしました。松本蟻ヶ崎高等学校書道部のパフォーマンス演技が有りにぎやかに開催されました。私どもも再来年度に40周年を迎えることとなりますが、多くの参考となることがありましたので次年度実行委員会が発足した中でご提案させていただきます。

また、21日にはIACの地区研修・協議会が有り地区委員の濱会員と一緒に出席をいたしました。次期地区IA委員長に就任する小池先生からは塩尻志学館高等学校の生徒さんが支援サポートに回ってくれると力強いお話を受けてきましたので安心して南農IACを支援していきたいと思っております。

さて、本日は4月より新しくお引き受けした米山奨学生 于漫萱(ウ マンケン)様をおむかえしております。奨学生に成った途端、多くの事業に引っ張り込まれ困惑していることと思いま

【小穴実会長】



す。月初めの奨学金贈呈式はともかく、種々の参加要請プログラムに関してはカウンセラーの藤森さんと相談の上、取捨選択して決めてください。1年間と短い期間では有りますが、楽しんでご活躍されればと考えております。

5月も行事が目白押しです。11日にはRYLAは上山田であり于さんが出席することとなっておりますね。13日にはクラブセントラルの説明会が有りますので関係者の皆さんはオンラインにてご参加ください。

19日には中信8クラブ合同ゴルフコンペが穂高カントリークラブにて開催されます。出席予定の皆さん頑張ってください。25日には大町RCの60周年記念式典が開催されます。小生と場々ガバナー補佐はシンガポール国際大会に出席の予定のため赤羽副会長にお願いしてございます。宜しく願いいたします。

シンガポール国際大会の様子は、29日のオンライン例会時に場々ガバナー補佐と共に報告させていただく予定です。

それでは本日もよろしくお願いいたします。

★ 幹事報告

【藤森康友幹事】

別紙参照



◇出席報告

会員総数 19名 出席免除会員数 1名	
本日の出席率	前々回(4/3修正出席率)
出席者: 9名	欠席者: 8名
欠席者: 9名	メーキャップ: 3名
出席率: 50%	出席率: 74%

★ ニコニコ BOX 報告

小穴： 本日は少し寒いですね

藤森(康)： ウ マンケンさんをお迎えして!

皆さんよろしくお願ひします。

場々： ウ マンケン様 ようこそ!!

笠原： ウ マンケンさん 1年間よろしくね!

下里： 米山奨学生をお迎えして

濱： ウ マンケンさん ようこそ!!

小野： ウ マンケンさんを迎えて 楽しくやりましょう。

赤羽： ウマンケンさんをお迎えして!

濱さんの卓話楽しみです

中村： ウ マンケンさん ようこそ!!

[計 9 件 25,000 円]

今年度のニコニコ BOX 計 562,110 円



★本日のプログラム

米山奨学生のご紹介

◎自己紹介

【 米山奨学生 于漫萱さん 】

みな様こんにちは。

于 漫萱と申します。中国の遼寧省瀋陽市から参りました。今は信州大学総合人文社会科学部 経済学分野の 2 年生です。

私は小さい頃から、日本のアニメが好きで、日本の文化に興味を持ち始めました。高校に入ってから、日本語の勉強を初め、先輩たちから日本についての話をたくさん聞きました。日本に対するイメージ、例えば発達している電車、日本人のマナー・礼儀の正しさ、茶道・剣道とか、そういうイメージを、自分の目で検証したいと思い、日本へ留学すると決めました。

そして、高校を卒業した後 2018 年に日本に来まして、京都の日本語学校で続いて半年間の勉強を経て、2019 年に信州大学経済学部に入りました。

長野県で生活していた 4 年間に、自然な風景の綺麗さに感動され、この夜空が好きになりました。ですから、学部卒業後、今通っている信州大学の大学院に入りました。

学生時代はまだ一年もないですが、最後の 1 年間にみな様と交流する貴重なチャンスをいただいて、心から感謝しています。

これからの 1 年間どうぞ宜しくお願いします。

ありがとうございました。



【 小穴会長から奨学金の贈呈 】



【 中村カウンセラーに感謝状授与 】

◎私の人生を支えて貰った4人の女性 【演会員】

余り自慢した我が人生ではありませんが、75年の歳月をふと振り返った時自分のそれには、何故か似つかわしくないけれど女性の存在が大きく関わっています。

「地元では進学校と言われていた高校を卒業して早稲田大学まで出たお前が何で背広から作業服に替えて、経験もないそんな仕事やってんだ」と友人知人からよく言われました。

そんなプロセスの中で今もって忘れることが出来ない、又心の中で今でも手をあわせて感謝の気持ちを伝えたい女性が4人います。

最初は矢張り妻、濱かな子です。妻とは昭和39年4月松本深志高校へ入学し、1学年から2学年進級時のクラス替えて同じクラスになりました。2年間特別親しく付き合ったわけではありませんでしたし、高校を卒業後もお互いどんな道に進んだのかも知りませんでした。

私とは言えば一浪して早稲田に入りましたが、時は学生運動の真っ最中で2学年になる頃は、学園封鎖があたりまえのようになっていました。バイトバイトに明け暮れていましたが単位は郵送レポート提出が主で大学の教室での授業は限られていました。

そんな生活の日常でしたが、3年の夏休みのお盆に友達と帰省して松本で遊んだ帰り際夜8時頃だったと思うけど、古い松本駅前の信号機待ちで、偶然高校卒業以来の妻(旧姓滝澤かな子)が女友達と居るのに会ったのです。この時もたわいのない会話を交わしただけだった気がしますが、その後9月の第2週からが新学期ですので東京の下宿に戻りましたが、その時から彼女のことが気になりだして手紙を書きました。現在のようにスマホなど勿論ありませんし東京と松本では早々会うことも出来ません、所謂ラブレターを初めて書きました。そして一度会ってくれと。昭和45年秋です。

10月になると夕暮れは早かった気がします。松本駅から今のパルコに向かう道沿いに{道}という洒落た純喫茶があって、そこをデートの場所に指定しました。付き合が本当にスタートした瞬間でした。

二人とも21歳で若かった。でも居る所は東京と松本ですから毎日一緒ではありませんし、私は学生でお金がありませんから専ら手紙でした。そして私はバイトバイトです。

年が明けて、46年4月からは4年ですが大学は相変わ



らず革マルの拠点で封鎖です。

この年の4月から清水建設の渋井所長さんの紹介で、私は北陸自動車道小松インターチェンジの現場と、続けて富山、新潟県境の親不知隧道の現場事務所に行けないかと言われて、行けますと返事をしてしまいました。親不知の現場は断っていればその後の問題は生じなかった気がしますが、時すでに遅でした。

9月か10月、4年生の就職活動は盛んです。私も学生課就職案内に長野県関係の募集企業を紹介して貰う為に行きましたが、そこで衝撃的な言葉に遭遇します。「濱さんは今年度の卒業見込み者にはなっていませんよ」説明によれば大学は教科単位と体育単位は別物で強化単位が卒業ラインより多くとってあっても、体育単位は最低2単位取得してないと卒業対象として見なされないとのことでした。

今から何とか救済の道は無いですかと聞くと8月までなら短期季節コースがあったけど今はもう無理ですとのことでした。

実は、この事が二人の関係に大きな波紋を招くことになってしまいました。学生課で宣告された時は前年の初デートから1年が経過していましたが、彼女にそのことを手紙の書きましたところ、このさきどうなるのか両親が言っているとのこと、私の母は何と言ってるのかと問題を投げかけられました。当然と言えば当然でしたが私の母は、兎に角大学を卒業して勤め人になって稼げるようにならないと無理との返事。彼女の親は、落第して1年間大学に通いそれから就職してなどと言えば2年以上待てと言う事で、そんな話は聞けないというものでした。

私にしてみれば反論する材料はなく47年の4月からは夏休みの短期コース「北アルプス縦走2週間」で単位を取得する事になり後はバイトバイトで過ごすことにしました。

その間に特に彼女の母は顔の広いところで娘の見合い相手を探したものと思います。恐らく私はその見合い相手の人に何事も無ければ彼女とは結婚していなかったと思います。

所がよくわかりませんが、とんでもないことが起こるんです。

今でも信じられませんから。今だったら有り得ないことだと思います。最低でも健康診断書の交換ぐらいあるのでしょうか？糖尿病からくる壊疽、尋常では有りませんが、見合いの紹介者は本当に何も知らなかったのでしょうか？こんな状態が襲い掛かり逆に断れないと悩むことになったそうです。結果的に先方からなかったことにしてくださいと断ってきたのだそうで、その後私を家に連れてこいと言う事になり、私がそんなにいい加減な男ではないと思ってもらえたのか、前に進むことが出来たのです。それにしても彼女の母からは「昭ちゃんかグズグズしてるもんだから」えらい目にあった、と言っていました。

そんな妻と、昨年幹事報告頂いたように金婚式を迎えることが出来 50 年の節目に立ちました。

2 人目は、日邦バルブ工業入社後の営業担当だった岐阜県大垣市の管工事組合におられた、渡辺政子さんです、そして本日は時間が有りませんのでまたの機会に譲りますが、他の 2 人も紹介だけしておきます。3 人目は私が日報バルブ工業を退職して次の仕事場で出会ったとても素敵な一回り位上の高野高子さんです。私のために仕事上の上司に向かって大きな瞳に涙をいっぱい貯めて抗議している姿が今も臉に焼き付いています。

そして 4 人目が、バー「ディアナ」ママ、波多腰久子さんです。

この方だけ私より 2 歳年下でしたが、平成 26 年 9 月肺がんて世界されました。

それぞれにそれぞれの思いがありますが、またの機会に譲ります。



ロータリーの友 5 月号

特集: 青少年奉仕

青少年奉仕月間
 青少年の育成を支援する
 というこ
 パキスタンのポリオ最前線
 もっと知りたい パキスタン



SPEECH

サバ缶宇宙へ行く 地産地消から
 地産地翔へ ◇小坂康之さん

この人 訪ねて

◇勢井由美子さん
 宮崎アカデミーRC

CONTENTS		ロータリーの友 5 Rotary 5 JAPAN MAY 2024
5月号は 青少年奉仕月間		
01 R1 会長メッセージ	4	ロータリー地域誌編集者セミナー Rethinking the Magazine 雑誌を再考する
R1 会長: ゴードン R. マッキナリー		
02 青少年奉仕月間	7	雑誌は学びとインスピレーションを与える ロータリーの友委員会委員長 高野高子 入門
青少年の育成を 支援するというこ R.Y.L.A. セミナー 第 2820 地区 / 第 2660 地区		よむやまだより 米山から世界の街へ カザフスタン・アルマトイ
青少年との適切な距離を知りましょう		地区大会略報 V 第 2750 地区 / 第 2580 地区 / 第 2680 地区
03 パキスタンのポリオ最前線	14	ELEVATE ROTARACT 携ローターアクトクラブ
もっと知りたい パキスタン		
04 地産地消特集	18	NEW GENERATION インターアクター 小畠くるみ / ローターアクト 穂加知
応援します! 能登		
本誌中絶中: 高野高子 / 第 2660 地区 / 穂加知 / 中津川 / 高山西 / 花岡 / 宮野 / 和歌山 / 和歌山 / 和歌山 / 和歌山 / 和歌山 / 和歌山 / 和歌山 / 和歌山 / 和歌山 / 和歌山 / 和歌山 / 和歌山 /		
視点: ガバナーのロータリー・コメント	23	6. #ロータリーとは 32. #People of action around the globe 34. #ROTARY 47 周年 42. #バシムからロータリー / 穂加知 43. #パキスタン最前線 44. #2024 年度報告 45. #新刊誌編集者からのメッセージ 46. #サバ缶宇宙へ行く / 小坂康之 47. #地産地消 / 穂加知 48. #宮崎アカデミー / 穂加知 49. #日本ロータリー / 穂加知 50. #ロータリー

目次		ロータリーの友 5 Rotary 5 JAPAN MAY 2024
110 頁へ行く		サバ缶宇宙へ行く / 小坂康之
111 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
112 頁へ行く		宮崎アカデミー / 穂加知
113 頁へ行く		新刊誌編集者からのメッセージ / 穂加知
114 頁へ行く		パキスタンのポリオ最前線 / 穂加知
115 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
116 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
117 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
118 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
119 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
120 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
121 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
122 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
123 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
124 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
125 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
126 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
127 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
128 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
129 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
130 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
131 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
132 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
133 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
134 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
135 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
136 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
137 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
138 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
139 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
140 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
141 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
142 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
143 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
144 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
145 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
146 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
147 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
148 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
149 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
150 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
151 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
152 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
153 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
154 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
155 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
156 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
157 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
158 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
159 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
160 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
161 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
162 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
163 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
164 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
165 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
166 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
167 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
168 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
169 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
170 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
171 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
172 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
173 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
174 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
175 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
176 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
177 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
178 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
179 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
180 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
181 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
182 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
183 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
184 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
185 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
186 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
187 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
188 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
189 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
190 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
191 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
192 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
193 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
194 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
195 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
196 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
197 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
198 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
199 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
200 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
201 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
202 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
203 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
204 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
205 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
206 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
207 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
208 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
209 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
210 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
211 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
212 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
213 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
214 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
215 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
216 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
217 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
218 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
219 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
220 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
221 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
222 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
223 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
224 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
225 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
226 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
227 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
228 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
229 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
230 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
231 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
232 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
233 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
234 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
235 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
236 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
237 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
238 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
239 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
240 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
241 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
242 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
243 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
244 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
245 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
246 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
247 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
248 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
249 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
250 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
251 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
252 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
253 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
254 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
255 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
256 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
257 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
258 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
259 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
260 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
261 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
262 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
263 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
264 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
265 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
266 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
267 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
268 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
269 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
270 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
271 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
272 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
273 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
274 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
275 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
276 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
277 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
278 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
279 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
280 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
281 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
282 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
283 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
284 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
285 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
286 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
287 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
288 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
289 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
290 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
291 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
292 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
293 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
294 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
295 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
296 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
297 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
298 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
299 頁へ行く		地産地消 / 穂加知
300 頁へ行く		地産地消 / 穂加知